

# 階上町社会教育複合施設整備基本設計が完成しました。



町では令和 7 年 3 月に完成した「階上町社会教育複合施設整備基本構想・基本計画」に基づき、同年 8 月に公募型プロポーザルを実施し設計の基礎となる「基本設計」作成の請負業者を決定し、その作成を進めてきました。

作成に当たっては、社会教育関係団体の代表者、図書館の利用者、有識者からなる「推進委員会」の意見や、町内の中学生から社会人、シニアの方まで多世代が参加した「町民ワークショップ」の意見を伺いながら、検討を進めてきました。

この度、基本設計が完成したことから概要をお知らせするものとなります。

## 設計コンセプト

### ひと・まち・知(歴史)をつなぎ“ミライを創る”みんなの居場所

本施設は、図書館や資料館といった従来の「静かに利用する場所」という枠を超え、町民一人一人が思い思いに過ごしながら、自然と人と人がつながる“居場所”になる建築を目指します。

館内では、気軽に会話やおしゃべりができ、飲み物や軽食を楽しみながらゆったりと過ごすことができます。また、学びや創作、地域活動など、多様な活動を受け入れる柔軟な空間を備え、訪れる人が自分らしい時間の使い方を見つけられる場です。

人が集まり、会話が生まれ、活動が広がることで、施設の中だけでなく、まち全体へと賑わいが波及していく——  
「新たなまちの居場所」ができます。

### — 施設に込めた“多世代”への想い —

#### “知りたい”を育てる場

本を読んだり、調べものをしたり、友だちと学んだりできるみんなの新しい学びの場所です。

学校とは少し違う、自由にワクワクしながら学べる場所。町の昔の暮らしを知る展示や、楽しいイベントも予定しています。

「知ることが楽しくなる場所」になります。

#### “学び”を育てる場

テスト勉強や調べ学習、進路の情報収集など、「落ち着いて学べる“自分の居場所”」として利用できます。

Wi-Fi 環境や学習スペースも整備し、放課後や休日に気軽に立ち寄れる場所を目指しています。

「集中できる場所」  
「仲間と学べる場所」  
「未来を考える場所」  
になります。

#### “交流”を育てる場

親子で本にふれあい、安心して過ごせる地域の子育て拠点となる施設です。

読み聞かせや親子イベントなどを通じて、子どもの成長を支える環境を整えます。「親子でゆったり過ごせる場所」

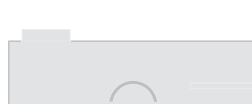
「子どもの好奇心を育てる場所」  
気軽に立ち寄れる居場所ができます。

#### “活動”を育てる場

読書や趣味、生涯学習、仲間との交流など、いきいきとした毎日を支える場所です。

町の歴史や文化を伝える民俗資料の展示で懐かしさや新しい発見を感じることができます。

「学び続けられる場所」  
「人とつながる場所」  
ゆったり過ごせる居場所  
ができます。





## 施設整備の基本的な考え方 持続的なまちづくり(ミライ)へとつながる施設づくり

「都市計画マスタープラン・立地適正化計画・基本構想・基本計画」を踏まえた“基本的な考え方”

1.

### はしかみ “階上らしい” 居心地の良い居場所

まちの“まんなか”である立地を活かして、周辺施設・町全体とつながる、多様で町民それぞれが好きな居場所を見つけれられる建築を創ります。

2.

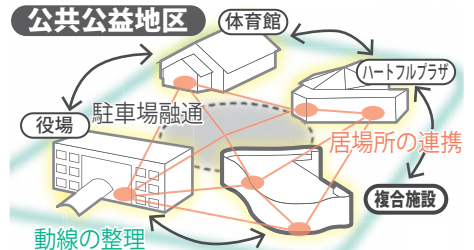
### “ミライにつなげる” 維持管理費縮減

自然の恵を活かして、再生可能エネルギーを取り入れながら、省エネルギーな建築を実現します。長寿命化を図り、維持管理費を縮減して、町の負担が少ない建築とします。

3.

### “町民と一緒に作る” 運営・運用の方針

将来にわたって使い続けられる施設づくりを行うために、町民ワークショップなどを行いながら設計を進めてきました。本当に求められる施設づくりを行っていきます。



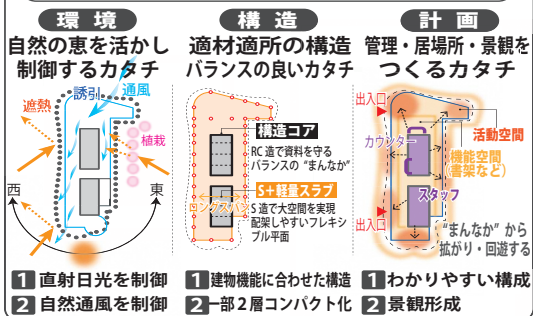
- 町の“まんなか”に位置する役場を中心としたエリアは、複合施設整備とあわせて、今後ますます公益拠点としての重要性が高まります。
- 複合施設での町民の賑わいがエリアの“顔”となりながら各施設を“つなぐ”役割を担うことで、役場エリアの価値を高めます。

### ポイント.1

#### 周辺施設と連携する 「活動のシンボル」のかたち

- 周辺施設と有機的に結び配置・機能・形態（階上の気候を読み解いたかたち）とします。

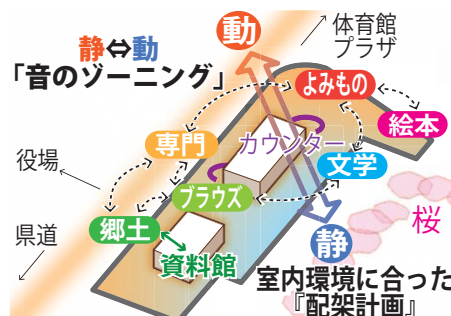
#### 『拡がる層状構成 (まんなかスタッフ+エコウエーブ)』



### ポイント.2

#### 多様な活動を包み込む “音のゾーニング”

- 図書館、資料館、交流機能の複合化によって多様な活動が可能となります。活動に合わせた「音環境」をつくることで、利用しやすい施設となります。



### ポイント.3

#### 『ブックマウンテン』が 居場所と知(歴史)を結ぶ

- 階上町が持つコンテンツ(本、地域資料、歴史資料、...)を棚や窓、展示ケースなどによって積み上げた『ブックマウンテン』が情報発信の拠り所として情報と居場所を結びます。

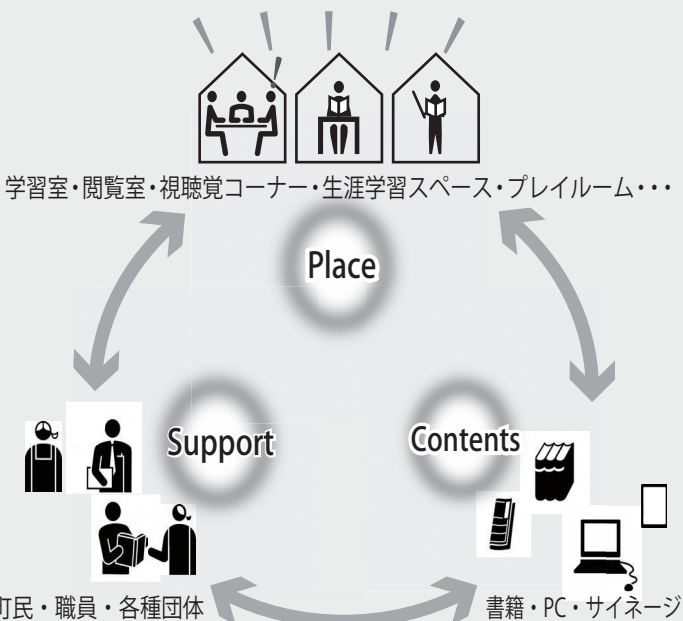




図書館 × 資料館 × 交流機能の“融合”  
「居場所」「コンテンツ」「人的支援」をつなぐ

居場所（学習室、生涯学習スペースなど）、情報（本、PC、郷土資料など）、ひと（町民、団体、職員）が密接に関わる施設とすることで、階上町が持つ情報（本）や資源（資料）によって学習活動を支える（生涯学習拠点）、さらには町民が集う施設（交流拠点）とします。

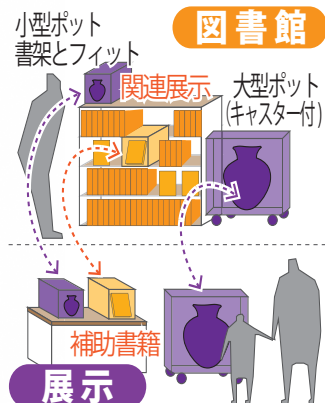
図書館、資料館、活動機能などの都市機能を「融合」し、“町民の文化的な居場所”を創出することで、町の活力向上に寄与する施設づくりを行います。



コンテンツの拠り所（しかけ）

ブックマウンテン

図書館機能（本、地域・歴史書籍）や資料館機能（地域資料）、観光情報が棚や展示ケースなどによって一緒に展示できる拠り所として『ブックマウンテン』が機能することで、図書館や資料館単体ではできない相乗効果を発揮します。



ポット家具

本や歴史資料は施設内を自由に展示することができ、図書館と資料館の融合を高め、学びや活動を深めるコンテンツとします。

将来的にハートフルプラザ、町役場も含めた展開も考慮して、エリア全体のミュージアム化へもつなげます。

車庫

### 学習スペース

- 利用者が自由に移動できる机・椅子を配置して、個人やグループなど多様な学びの環境に柔軟に対応
- 周辺の本棚には、中高生やビジネスなど、利用者層に合わせた本が並ぶ

### しばふ広場

- 軽運動が楽しめる芝生の広場
- ゲートボールを始め、子どもの遊び場やピクニックなどが楽しめる

### カウンター

- 施設のまん中のわかりやすい位置に利用者が職員に気軽に声を掛けられる場所
- 日常的な会話や質問、観光案内など対話の場

### 町民展示

- 町民の発表の場。作品展示など多様な文化活動に利用
- 2部屋配置され、2団体同時開催可能

### 観光交流スペース

- 町外からの来訪者が町の観光情報を知ることができ、町民やガイドと町の文化体験等を通して交流できる空間。

### 交流スペース

- エントランス空間として、椅子や机が配置され、気軽に腰掛けて、お話ができる賑わい空間。飲食も可能。

### ウェルカム広場

- ベンチなどが配置され、日常的に気軽に立ち寄れる外の憩いの場
- イベントに活用できる広い広場。発表の場や飲食イベントなど幅広いイベントが可能

### 会議室

- セミナーやワークショップなど幅広く活用できる。(最大50人程度)
- 利用していない時は学習スペースとしても利用可能

### 資料館(展示)

- 分かりやすく、実際の“モノ”に触れて、階上の歴史、文化を体験
- 定期的な模様替えがしやすい工夫で利用者が楽しめる展示空間

### ハシカミテラス

- 階上岳が見える室内の憩いの場

### 児童閲覧

- 子どもの絵本や読みもののコーナー
- 読み聞かせスペースや体が動かせるキッズスペース、親のふれあいの場

### 閲覧席

- 窓際の個人のカウンター閲覧席
- ゆったりとしたスペースで、外の庭を見ながら読書や勉強ができる

### 活動スペース

- 町民の多様な活動のための個室
- 12人程度利用×3室、30人程度利用×1室

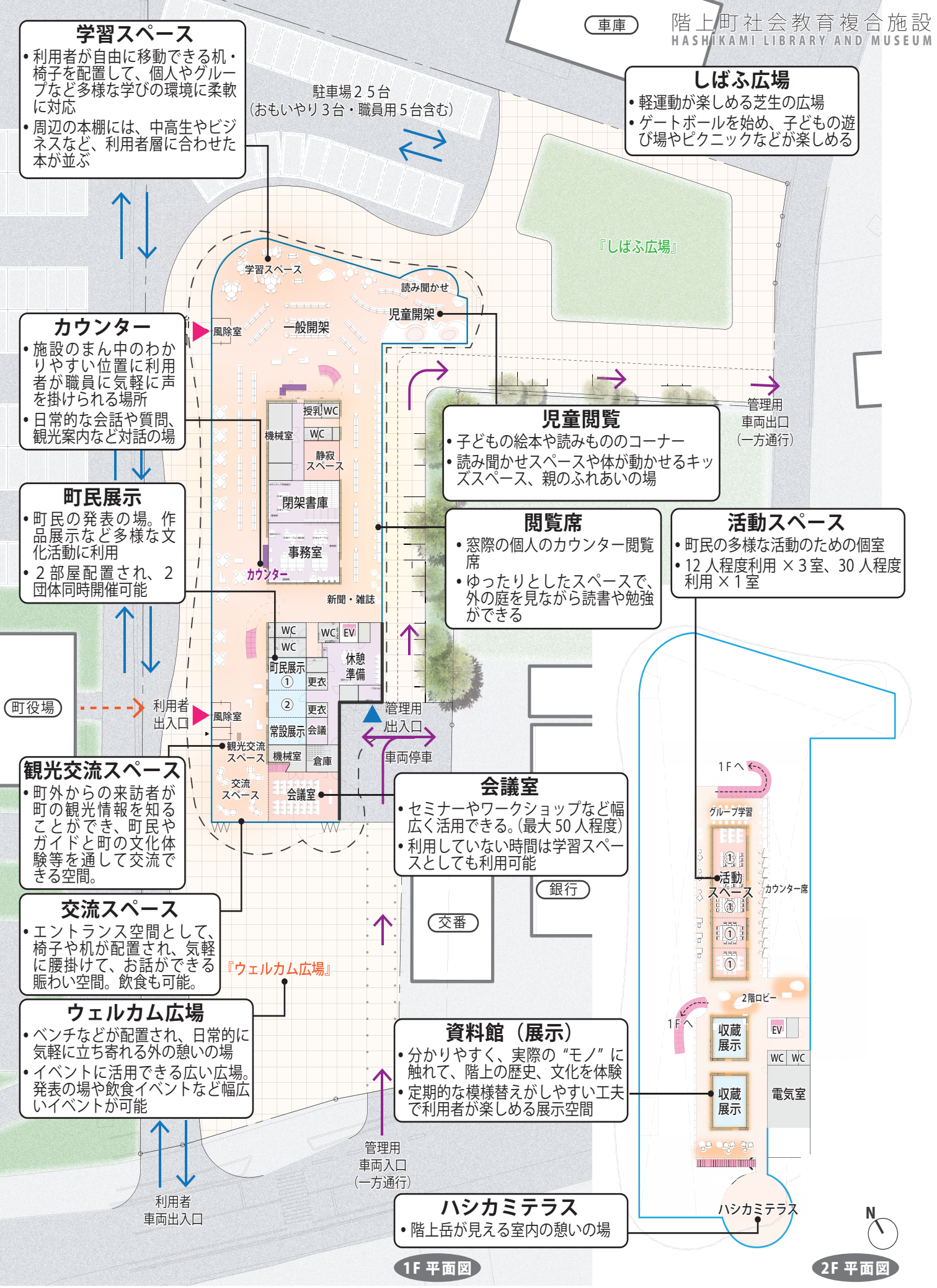
町役場

銀行

交番

『ウェルカム広場』

ハシカミテラス



1F 平面図

2F 平面図